慣れのホームアドバンテージへの影響の検討

○安部健太¹

(1 学習院大学計算機センター)

キーワード: サッカー, Jリーグ, こけらおとし

Consideration of the influence on home advantage by familiarity

Kenta Abe¹

(1 Computer Centre, Gakushuin University)

Key Words: Football, J league, Kokera-otoshi

目 的

ホームアドバンテージとはホームチーム、すなわち競技を実施する場所を本拠地とするチームのほうがアウェイチームよりも有利だとすることを指す。ホームアドバンテージはスポーツ領域において頑健な現象として知られている。ホームアドバンテージの要因には習熟因子、移動因子、ルール因子、観客因子が指摘されているが(Courneya & Carron, 1992)、ホームアドバンテージの最も重要な原因が何かは明らかになっていない。

Van de Ven (2011)はサッカーを対象にサポーターの応援がホームアドバンテージに全体的な影響を与えていないという興味深い結果を示した。Van de Ven (2011)はイタリアのプロサッカーリーグにおいて、ホームアドバンテージが認められることを示したうえで、同じスタジアムを本拠地とするチーム同士の試合を対象に分析した結果、ホームアドバンテージは認められなかった。この結果は、ホームチーム同士の対戦においては、共通してスタジアムを多用することからどちらもスタジアムに慣れており、ホームアドバンテージが認められなかったことが示唆している。

本研究においては、先行研究で最も重要な変数とされた慣れ(familiarity)による影響を検討するため、ホームアドバンテージが認められるサッカークラブを対象に、新スタジアムのこけらおとしの前後による差異を検討することを目的とした。慣れによる影響が大きいとすれば、ホームスタジアムを新しくすることは、クラブの結果に悪影響を及ぼすと仮定できた。

方 法

対 象 日本プロサッカーリーグのクラブチーム 54 クラブから、1 部リーグの在籍チームを対象とした。

条 件 本研究においてホームスタジアムとは、日本プロサッカーリーグに登録されているスタジアムを指す。ホームスタジアムが複数登録されている場合やホームゲームとして開催された地方開催などの結果は除いている。

分析対象の条件として、ホームスタジアムを変更したことがあるクラブチームとし、改修は含まないものとした。並行して新スタジアムと旧スタジアムでの開催、あるいは徐々に新スタジアムでの開催日数を増したクラブチームは除いた。そして、新スタジアムのこけらおとしの前後で、リーグの昇格・降格が含まれた場合には、対戦チームも大きく異なることから除外した。

条件に該当するクラブチームは 4 チームだった。

デ ー タ 条件に該当したクラブチームを対象として、公式試合の記録を J リーグデータサイト(<https://data.j-league.or.jp/>)から抽出した。

結 果

抽出した公式結果から、こけらおとしの前後 2 年間のホー

ムスタジアムでの勝ち点数を比較した。分析は、こけらおとしの前後の差異を比較するためにホームスタジアムの差異を一つの変数とした。また、クラブチームごとの差異を考慮して、クラブチームも変数の一つとし、2 要因分散分析による分析を実施した。Figure 1 は、対象チームの新旧スタジアムにおける平均勝ち点数を示している。

2 要因分散分析の結果、ホームスタジアム変数に単純主効果の有意傾向が認められ($F_{(1, 251)} = 3.55, p < .10$)、交互作用が有意であった($F_{(3, 251)} = 4.72, p < .01$)。この結果は、新スタジアムに変更することでホームアドバンテージが低減する可能性があること、ただしクラブチームによって影響に差異があることが示唆された。

Figure 1. 新旧スタジアムにおける勝ち点数

考 察

本研究においては、慣れのホームアドバンテージへの影響を探るために、スタジアムのこけらおとしの前後のパフォーマンスの差異を検討することを目的とした。分析の結果、こけらおとし前のほうが、ホームアドバンテージが認められた。

本研究の調査結果は、スタジアムの慣れによる影響は、ホームアドバンテージのための必要条件であり、さらなる研究のための課題を示唆している。本研究で対象としたクラブチームによって、差異が認められている。クラブ A は、ほかのチームと異なり、長期にわたって並行開催を実施していた。J リーグは順位の入れ替わりが激しいため、実力が拮抗しているという。新スタジアムに変更することはリスクを伴う可能性を考慮して、慣れるまでのスケジュール管理を考慮する必要がある。

引用文献

- Courneya, K. S., & Carron, A. V. (1992). The home advantage in sport competitions: A literature review. *Journal of Sport and Exercise Psychology*, 14, 13-27.
- Van de Ven, N. (2011). Supporters are not necessary for the home advantage: Evidence from same-stadium derbies and games without an audience. *Journal of Applied Social Psychology*, 41, 2785-2792.